

令和4年度 学校だより



令和4年4月11日(月)
御前崎市立第一小学校
学校教育目標
花いっぱい 自分 友だち 御一小
E-mail: 4月号
onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka

花いっぱい 自分 友だち 御一小

令和3年度に創立50周年を迎えた御一小。令和4年度は、誰もが幸せになれる日本一の学校を目指して新しいスタートをします。「花」とは、その人の持つ良さや可能性のこと。子どもたちが主人公として主体性を活かし、一人ひとりが自分の花を咲かせ、友だちとも互いの花を認め合い、学校生活に反映させていきます。6年生は、すでに「こんな学校にしたい。」という思いを持ち(夢プロジェクト)、生活をスタートさせています。

重点目標「自分から みんなで」

学校教育目標に近づくためには、自分自身をかけがえのない存在として自覚し、前向きに生きていくとともに、他者へも優しい心で接することのできるよう「自己肯定感の高揚」を図る必要があります。また、そうなれば、自分が何をすれば、「夢」実現につながるか？その思いを実現するための行動「自治力の醸成」が起こるはずです。職員一同、子どもたちの花を育て、大きく咲かせることのできるよう子どもたちの活動を導き、支援(ボイスシャワー)してまいります。

学校×家庭×地域「チーム御一小」

将来、社会を支える人材として、今の子どもたちを育てていくことを考えたとき「学校・家庭・地域」の連携が必要不可欠です。学校だけ、保護者だけでは足りません。市ではスクラムスクール運営協議会が、「早寝 早起き 朝ごはん」や「ゲーム依存・ネット依存から子どもを守る」について取り組んでいます。また、登下校中の見守り活動やスクラムカレンダー、各種のボランティア活動など、多くの皆様が御一小の子どもたちのために活躍されています。コロナ対策をとりつつ、三者の連携を強化し、地域一体となったコミュニティスクール化を推進していきます。学校の主役は子供たちです。どんな子も、「良くなりたい。がんばりたい。」という思いを持っています。そんな思いを大切に、実現できるよう、職員・保護者・地域の皆さんの協力によって、より効果的な教育を目指していきます。「チーム御一小」として1年間よろしくお願いします。



(校長 吉村紳治郎)